

2026年4月期 第3四半期

決算補足説明資料

株式会社 **ナデックス**



中期経営計画に基づいて、成長分野・エリアへの展開による新たな事業の柱を創出するグループ事業戦略を推進しております。中長期的に当社グループが、「継続」「成長」していくためには、既存事業に加え、将来の成長のための新たなチャレンジが必須であります。当社グループが持つ強みを活かせる可能性を全方位的に検討し、成長市場・エリアでの販路拡大・機会創出を進めております。

米国子会社のスマートエネルギー事業の拡大

社会課題である脱炭素化において、電気自動車(EV)充電ステーションの増設が今後加速することが見込まれ、当期の業績予想に織り込んでおります。

Uptime EV Charger, Inc.

EV充電インフラの信頼性と稼働率の最大化を目指す米国ミシガン州に本社を置く企業



主な事業内容

<既存事業>

- ・EV充電器のモニタリングシステムの開発・販売・サービスサポート

<新規事業>

- ・充電ステーション建設
- ・ポータブル電源制作・販売



ポータブル電源設備



充電ステーション イメージ図

→ 今期より『スマートエネルギー事業』として開示しております

インド子会社が事業開始

2026年1月よりインド子会社「NADEX INDIA Pvt. Ltd.」が事業を開始いたしました。製造業の高度化と自動化ニーズが高まるインド市場で、当社の技術力を活かした高付加価値ソリューションを提供し、現地産業の発展に貢献してまいります。

会社名： NADEX INDIA Pvt. Ltd.

所在地： DLF Cybercity, DLF Phase 3, Gurugram, Haryana 122002

設立の目的

- ✓ インドでは製造業の自動化が急速に進展、今後さらなる市場拡大が見込まれる。
- ✓ 顧客の自動化投資・生産技術高度化への強いニーズに対応。



- ✓ 高付加価値なトータルソリューションを効率的に提供してまいります。

事業コンセプト

製品開発

NDXの技術力を活かし、現地ニーズに応える製品をパートナーと共に創出。

事業開発

出資先企業を主役に、NDXは支援に徹し、共に成長を目指す。

ターゲット顧客

出資を通じて、現地企業とのネットワークを広げ、ビジネスの拡大を図る。

決算概要について

- 売上高は、244.9億円となり、前年同期比 14.9億円の減収。
- 営業利益は、5.3億円となり、前年同期比 3.5億円の増益。
- 経常利益は6.7億円となり、前年同期比で4.1億円増加し、黒字幅が拡大しました。

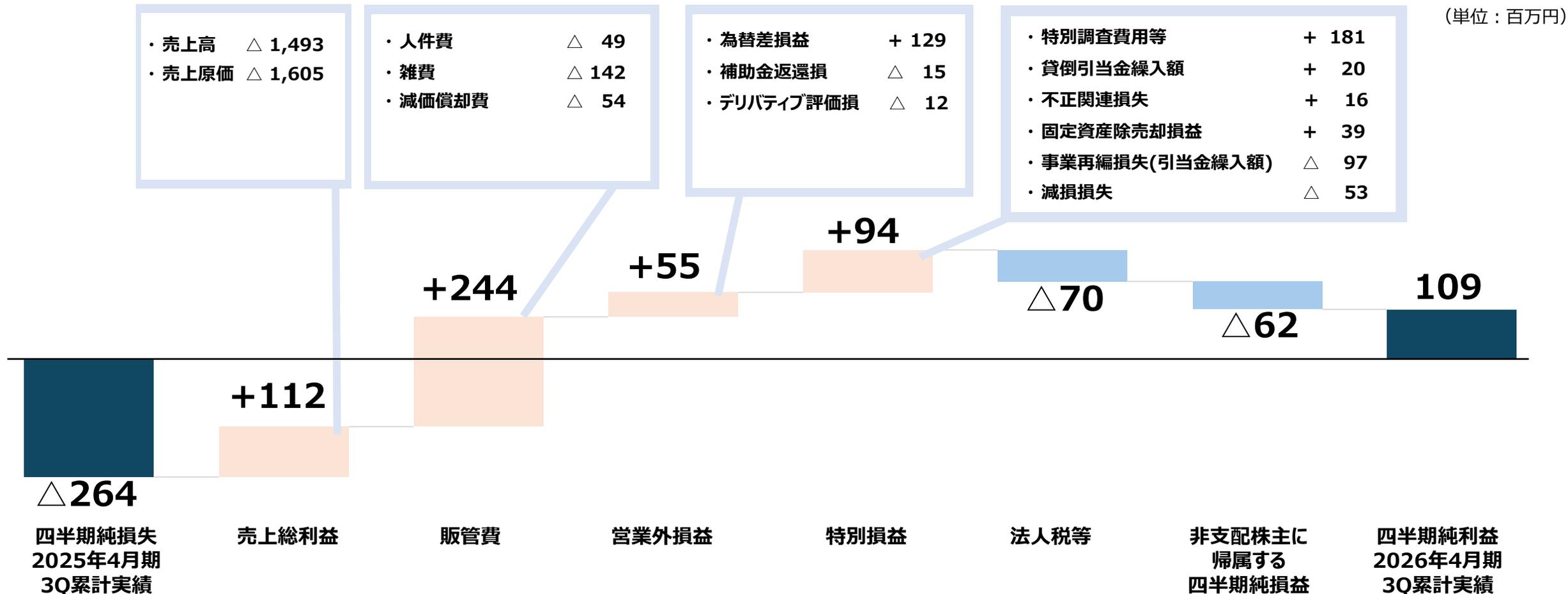
(単位：百万円)

	2025年 4月期 3Q累計実績	2026年 4月期 3Q累計実績	増減	2026年 4月期 通期予想	進捗率
売上高	25,984	24,490	△ 1,493	38,000	64%
営業利益	180	537	357	1,400	38%
経常利益	264	677	412	1,600	42%
四半期純利益又は 四半期純損失※ (△)	△ 264	109	374	650	16%

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

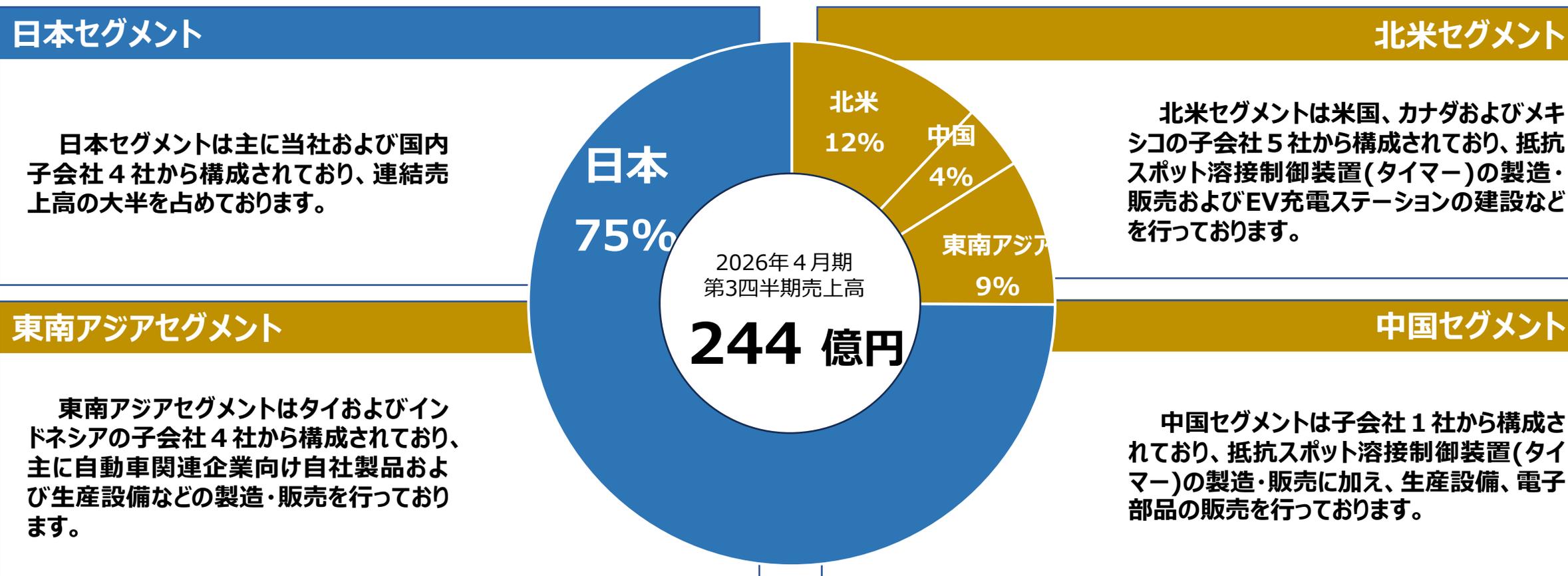
四半期純利益の増減要因

- 売上総利益は、前年同期に比べて1.1億円の増益。
- 特別損益においては、特別調査費用等などがなくなったことなどにより、四半期純利益は3.7億円改善し、前年の赤字から黒字へ大幅に回復。



▶ 当社グループは、製造・販売を基礎とする地域別の4つのセグメント(日本、北米、中国および東南アジア)から構成されております。

■ 国内 ■ 海外



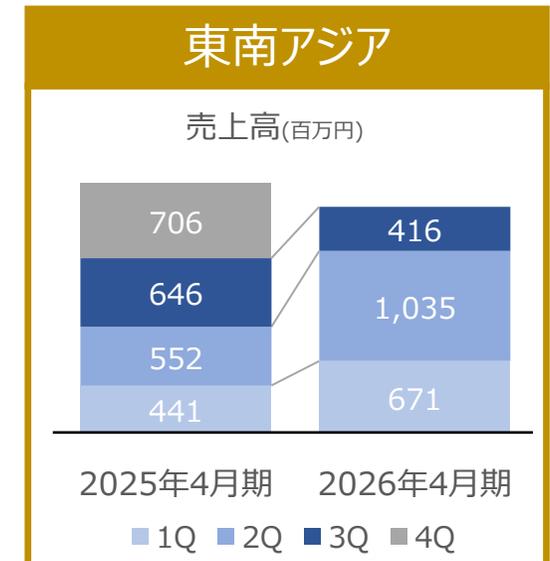
※ 比率は、セグメント間の内部売上高を除く構成比

地域別売上高・営業利益



(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2025年4月期 3Q累計実績	2026年4月期 3Q累計実績	増減	2025年4月期 3Q累計実績	2026年4月期 3Q累計実績	増減
日本	20,900	19,008	△ 1,892	149	407	+ 257
北米	2,770	3,033	+ 263	8	△ 4	△ 13
中国	1,372	1,116	△ 255	△ 63	△ 35	+ 28
東南アジア	1,639	2,123	+ 483	81	137	+ 56



地域・四半期別推移

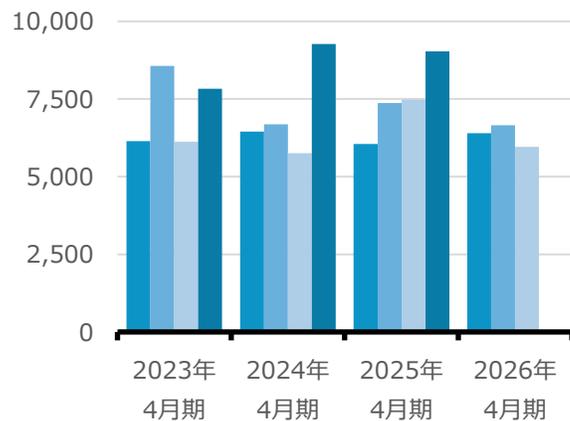


■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

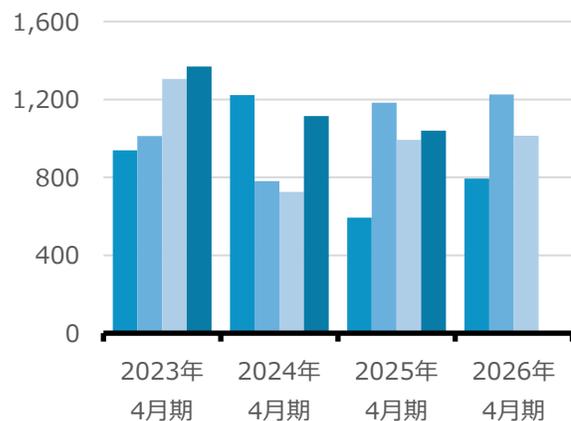
単位：百万円

売上高

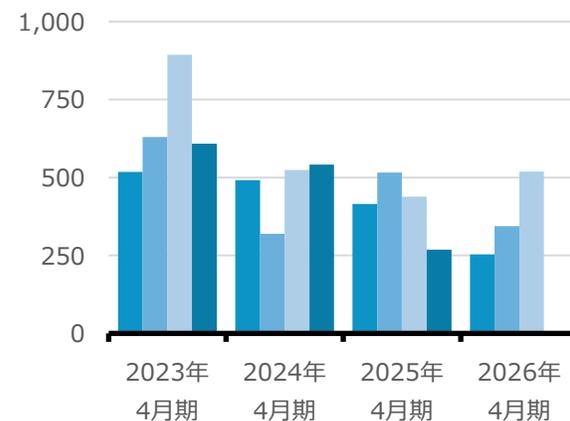
日本



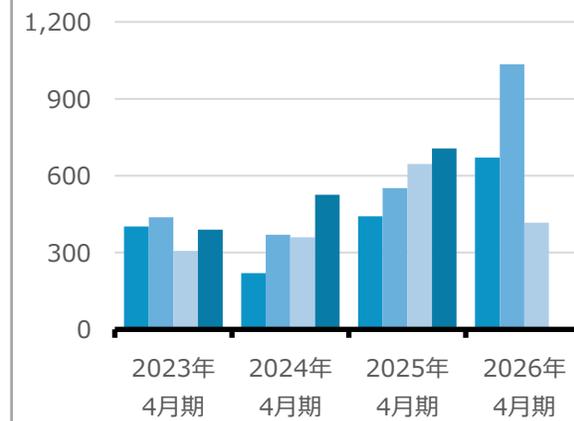
北米



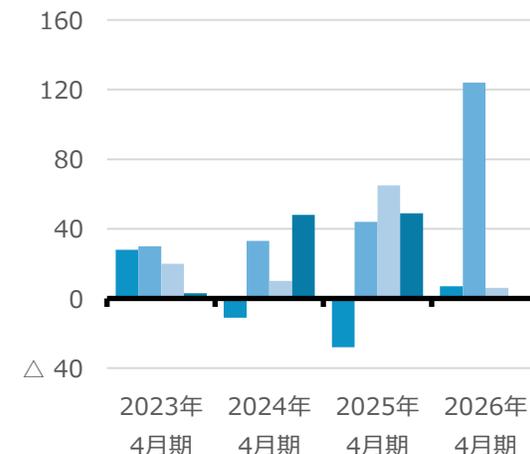
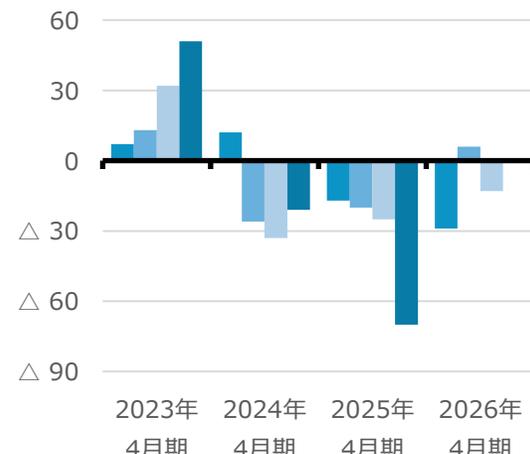
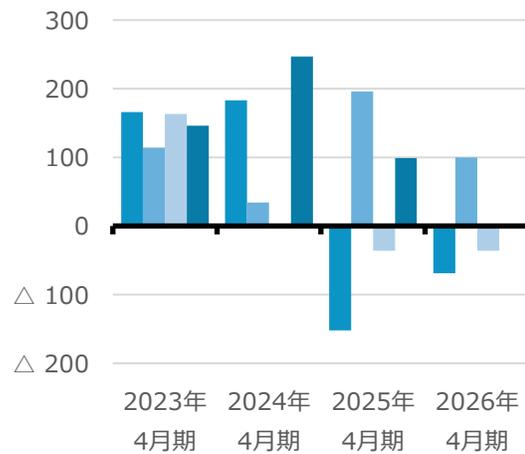
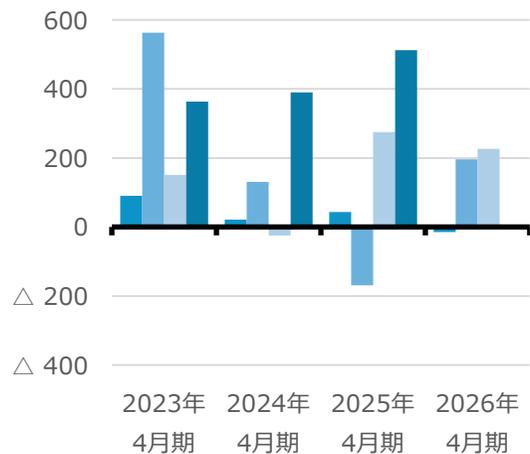
中国



東南アジア



営業利益



▶ 当社グループは、次の5つを主要な事業として行っております。

■ メーカー機能 ■ 商社機能

プロセスソリューション(PS)事業

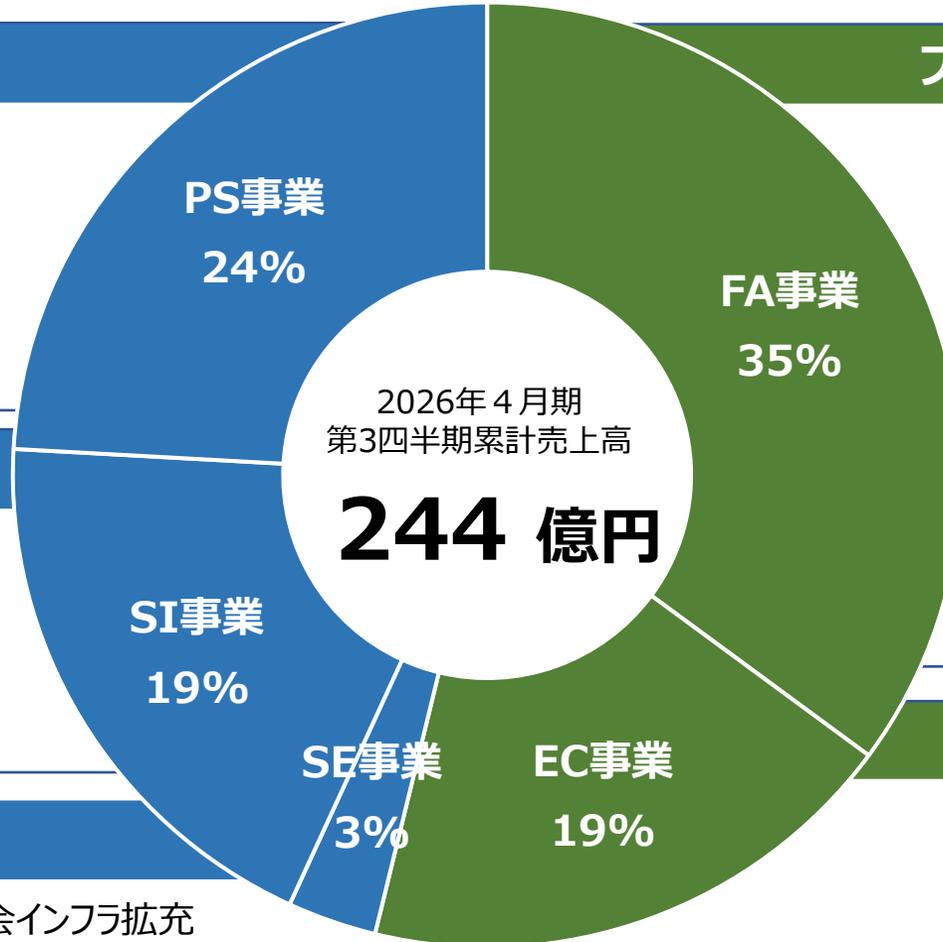
国内自動車業界でトップシェアを誇る抵抗スポット溶接制御装置(タイマー)を主軸に、レーザ加工技術、異材接合、ITを用いた次世代工法・加工ソリューションの開発を通じて、ものづくりの進化に貢献してまいります。

システムインテグレーション(SI)事業

お客様が求める生産システムをオーダーメイドで構想からカタチにする提案を行っております。各事業との有機的な連携を通じて、トータルソリューションの提供をより一層推進してまいります。

スマートエナジー(SE)事業

電気自動車(EV)の普及にかかせない社会インフラ拡充のため、充電ステーションの建設、EVモニタリングシステムの開発・販売・サービスサポートまでを、最適にカスタマイズしたソリューションとして提供しております。



ファクトリーオートメーション(FA)事業

ロボット・FAシステムを中心とした省人化・自動化の提案、組付機・加工機・検査機といった単体機から製造ラインまでワンストップでの提供を行っております。また、製造業以外にも、物流ニーズに対応した構内物流の自動化ソリューションを展開しております。

制御部品(EC)事業

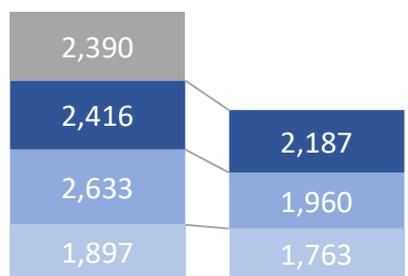
電子・電気制御部品の代理店販売を主軸としつつ、基板設計実装や制御盤製作などを提供しております。当社のネットワークでお客様の課題を解決する最適なコンポーネントを提案しております。

(単位：百万円)

	2025年4月期度 3Q累計実績	2026年4月期 3Q累計実績	増減
プロセスソリューション(PS)事業	6,946	5,911	△ 1,035
システムインテグレーション(SI)事業	4,054	4,661	+ 607
スマートエナジー(SE)事業	112	743	+ 631
ファクトリーオートメーション(FA)事業	10,188	8,598	△ 1,590
制御部品(EC)事業	4,681	4,575	△ 106

プロセスソリューション事業

売上高(百万円)

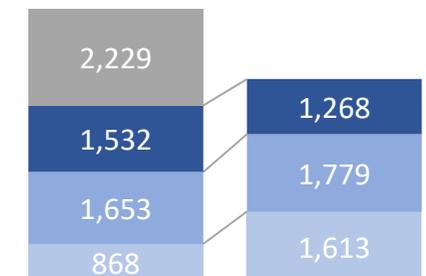


2025年4月期 2026年4月期

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

システムインテグレーション事業

売上高(百万円)



2025年4月期 2026年4月期

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

スマートエナジー事業

売上高(百万円)

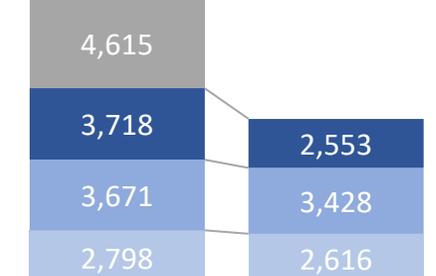


2025年4月期 2026年4月期

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

ファクトリーオートメーション事業

売上高(百万円)

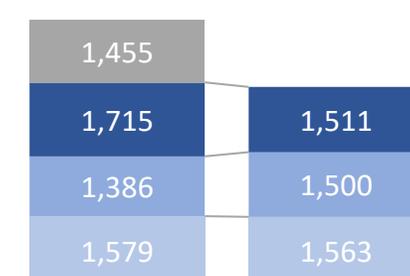


2025年4月期 2026年4月期

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

制御部品事業

売上高(百万円)



2025年4月期 2026年4月期

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

地域別×事業別売上高と増減要因



(単位：百万円)

	日本			北米			中国			東南アジア		
	2025年3Q	2026年3Q	増減	2025年3Q	2026年3Q	増減	2025年3Q	2026年3Q	増減	2025年3Q	2026年3Q	増減
		4,178	3,504	△ 674	2,353	2,091	△ 262	229	220	△ 9	185	95
メーカー機能	PS事業			自社製品の販売減少			—			—		
	3,459	3,585	+ 125	108	29	△ 78	—	—	—	486	1,046	+ 559
	半導体の需要回復			—			—			日系自動車の大型投資		
商社機能	SE事業			前年のM&A効果			—			—		
	—	—	—	112	743	+ 631	—	—	—	—	—	—
	8,611	7,233	△1,377	135	157	+ 21	596	317	△ 278	845	888	+ 43
	FA事業			EV投資の低迷			日系企業の投資縮小			—		
	4,082	4,000	△ 81	—	—	—	486	490	+ 3	111	83	△ 28
	EC事業			—			—			—		

通期業績について

2025年12月9日公表の通期連結業績予想については、変更はありません

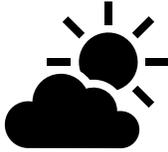
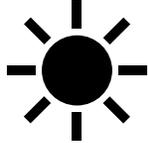
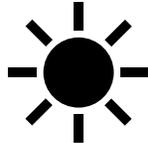
- 当社グループの売上高の推移を四半期ごとに見ると4Qに計上される傾向がありますが、当期は特にその傾向が顕著であります。
(→P. 8「地域・四半期別推移」をご覧ください)
- また、新事業であるスマートエナジー(SE)事業は順調に注文を頂いており、今後、当社グループの業績に大きく貢献する見込みであります。
- 当3Q時点の通期連結業績予想に対する進捗率は、売上高が64%、営業利益が38%であります。通期連結業績予想に変更はございません。

(単位：百万円)

	2025年 4月期 通期実績	2026年 4月期 通期予想	前期増減
売上高	36,890	38,000	1,109
営業利益	762	1,400	637
経常利益	894	1,600	705
親会社株主に帰属する 当期純利益	251	650	398

安定的な事業基盤の継続と、新たな事業の成長により、通期連結業績見通しに変更はございません。

■ 地域別の状況と足元の整理

地域	状況	3Q結果を受けた確認・整理	
日本		安定的な基盤事業	社会課題を見据えたソリューションの高度化
北米		SE事業が急拡大	更なる事業拡大に備え経営体制の強化中
中国		事業構造の再編中	当期中に事業再編にメド
東南アジア		大型案件の獲得で大きく伸長	今後も自動車関連中心に事業活動を展開

市場環境の変化を捉え、最適なソリューションの提案を続けてまいります。

2026年4月期における配当予想

安定配当を基本に、中期で総還元性向50%以上を維持とし、業績変動下でも継続性を重視した還元方針をとっています。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想からの変更はございません。

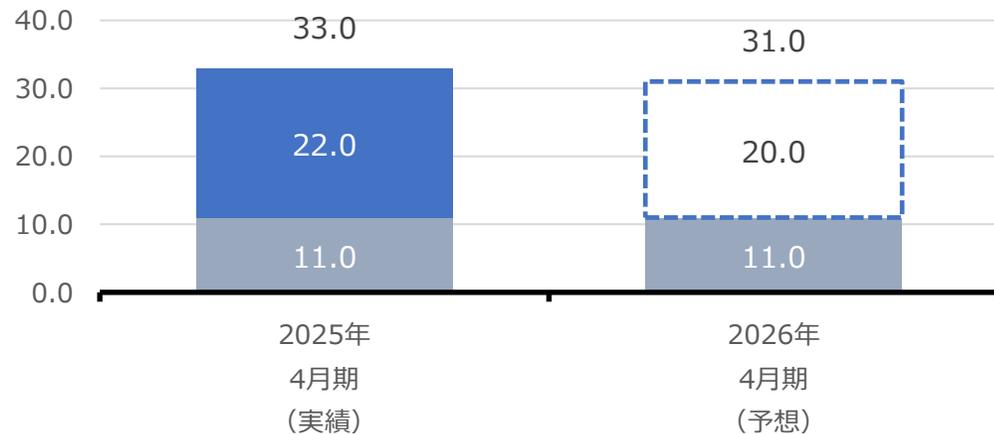
配当性向

単位：%



1株当たり配当金

単位：円

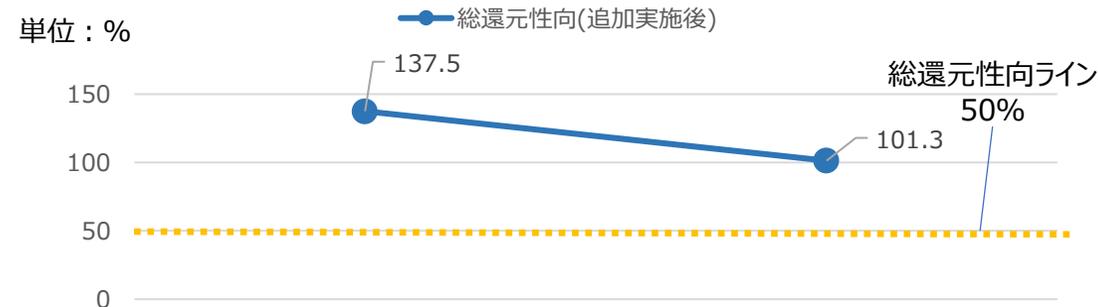


総還元性向について

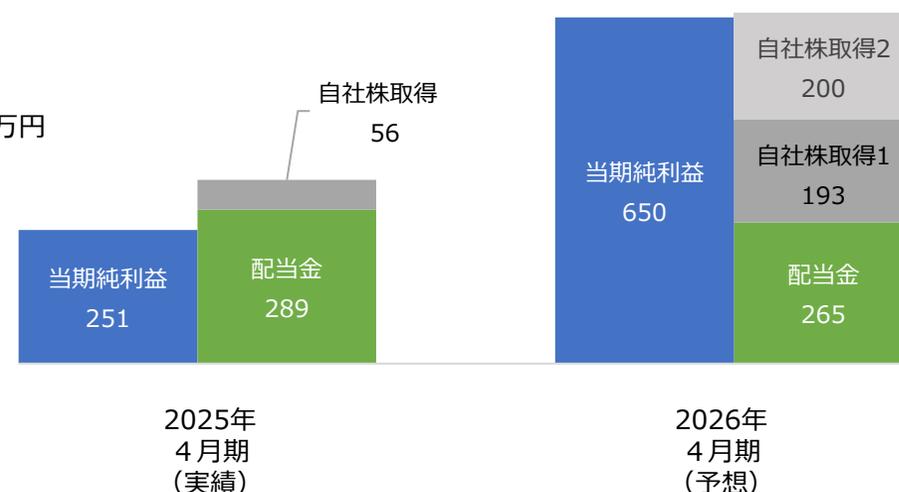
2026年4月期においては、自己株式の取得を2025年3月開始分に加え、2025年12月開始分も実施

この結果 総還元性向は 101.3%となる見込み

単位：%



単位：百万円



創立75周年を迎えるにあたり、日頃のご支援への感謝を込めて、記念株主優待を単年度の特別施策として実施いたします。

■実施の理由

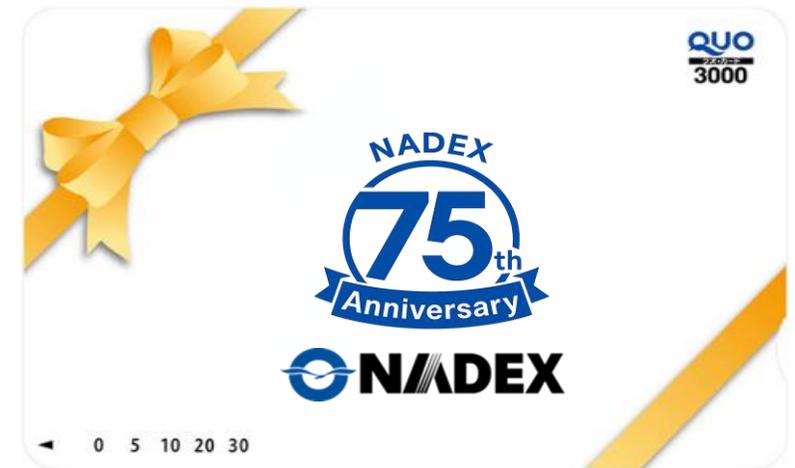
当社は2025年10月に創立75周年を迎えることができました。これもひとえに株主のみなさまをはじめとするステークホルダーのみなさまのご支援とご協力によるものであり、心より御礼申し上げます。つきましては、これまでご支援いただいた株主のみなさまへの感謝の意を表するとともに、創立75周年を記念いたしまして、記念株主優待を実施することといたしました。

■優待内容

内容 : QUOカード (3,000円)

対象株主 : 2026年4月末日現在で、当社株主名簿に記載または記録された、当社普通株式を100株以上保有する株主さま

発送時期 : 2026年7月下旬に定時株主総会決議通知に同封することを予定しております。



※画像はイメージです。

ESG（環境・社会・ガバナンス）は、企業価値向上の前提条件として継続的に取り組んでいます。

ESG（環境・社会・ガバナンス）は、当社の中期価値創造プロセスの“前提条件”です。
継続施策を安定的に実行しております。

Environment

・Greenでんき導入

⇒ 本社・技術センターの電力を「Greenでんき」に切替え、CO₂排出係数ゼロを実現



Social

・フードドライブ活動への協力

⇒ 三菱UFJ銀行が実施する地域支援活動に賛同し、食料品寄付に参加
(NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ寄付)



Governance

・全社コンプラ研修

⇒ 自律的なコンプライアンス意識を醸成し、組織全体の内部統制を強化



(将来に関する記述等についてのご注意)

- 本資料に開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知および未知のリスクや不確実性およびその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。
- こうしたリスク、不確実性およびその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。
- 従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。